

令和2年度 教育課程編成・実施についての自己評価の集約結果

飯塚市立八木山小学校

評価基準		評価 令和2年度 1学期		評価 令和2年度 2学期		評価 令和2年度 3学期		差	R1 3学期
よくできている:3、だいたいできている:2、少しでもできている:1、できていない:0		平均(A)	%	平均(A)	%	平均(A)	%		
区分	評価項目								
教務	1 教育指導計画に沿った教育課程が確実に実施できている。	● 2.4	80.0	● 2.1	70.8	● 2.6	86.7	8.9	77.8
	2 学力や体力向上プランに示している教育活動が実施できている。	● 2.3	75.0	● 2.1	71.4	● 2.7	90.0	10.8	79.2
教科	3 基礎的・基本的な内容の確実な習熟や定着を図っている。	● 2.4	79.2	● 2.4	81.0	● 2.7	90.0	4.3	85.7
	4 自ら進んで学習に取り組む意欲や態度を育成している。	● 2.4	79.2	● 2.1	71.4	● 2.4	80.0	8.6	71.4
	5 活用する力の育成を図るための授業改善に取り組んでいる。	● 2.1	70.8	● 1.7	57.1	● 2.2	73.3	(4.5)	77.8
道徳 人権	6 道徳の時間を確保し、他教科との関連を図りながら指導の工夫を行っている。	● 2.5	83.3	● 2.0	66.7	● 2.7	90.5	10.5	80.0
	7 児童の実態に応じて「わたしたちの道徳」や「あおぞら」等を活用している。	● 2.2	72.2	● 1.4	46.7	● 2.7	90.5	1.6	88.9
	8 自他の生命や人格を尊重し、みんなと協力してともに伸びていく児童を育成している。	● 2.6	87.9	● 2.3	75.0	● 2.4	80.0	(12.6)	92.6
特活	9 児童の主体的な活動を計画的に取り入れている。	● 2.1	70.8	● 2.0	66.7	● 2.3	76.7	2.6	74.1
	10 クラブ・委員会活動では、児童の意欲を高め楽しく活動できるように指導している。	● 2.4	79.2	● 2.5	83.3	● 2.6	86.7	1.5	85.2
総合的な 学習	11 探求的な学習や体験学習等を通して、自ら学び、自ら考える力を育成している。	● 2.2	74.1	● 2.5	83.3	● 2.6	85.2	(0.5)	85.7
	12 地域の教育資源(ひと、もの、こと)の積極的な活用ができています。	● 2.5	81.8	● 2.9	95.8	● 2.6	87.5	(5.1)	92.6
生徒指導	13 ルールを守る指導やマナーを向上させる指導の充実を図っている。	● 2.5	81.8	● 2.4	81.5	● 2.6	86.7	12.6	74.1
	14 いじめ・不登校・問題行動等への対応を速やかに行っている。	● 2.7	90.9	● 2.4	81.5	● 3.0	100.0	18.5	81.5
	15 教育相談等を通して、児童理解を深めている。	● 2.9	97.0	● 2.3	75.0	● 2.8	93.3	5.8	87.5
	16 日常的な家庭連絡や家庭訪問等を通して、家庭との連携を図っている。	● 2.6	86.7	● 2.3	77.8	● 2.9	96.3	5.8	90.5
研修	17 研究主題に沿った校内研修や一般研修を計画的に行っている。	● 2.4	81.5	● 3.0	100.0	● 2.8	93.3	4.4	88.9
	18 全学級で研究授業を行い、研修の成果を日常の教育実践に生かしている。	● 2.0	66.7	● 2.9	95.2	● 2.8	93.3	5.8	87.5
健康 安全	19 「学校安全の日」等の機会をとらえ、安全指導の徹底を図っている。	● 2.3	76.7	● 2.3	75.0	● 2.5	83.3	5.5	77.8
	20 「いきいきチェック表」の活用等を通して、自ら進んで健康的な生活ができる児童を育成している。	● 2.6	87.9	● 2.5	83.3	● 2.8	93.3	14.1	79.2
特別支援	21 特別支援教育について、研修等を通して全職員の共通理解を図っている。	● 3.0	100.0	● 2.5	83.3	● 3.0	100.0	3.3	96.7
	22 一人ひとりの教育的ニーズを把握し、特別支援教育の視点に立った指導ができています。	● 2.7	90.9	● 2.1	70.8	● 2.8	93.3	6.6	86.7
学習環境	23 教材・教具を整理、整頓し、計画的に活用している。	● 2.6	87.9	● 2.3	75.0	● 2.6	86.7	11.7	75.0
	24 学校全体で清掃活動に取り組み、学校がきちんと整備できている。	● 2.4	78.8	● 2.3	77.8	● 2.6	86.7	3.4	83.3
文化	25 図書館教育を積極的に推進している。	● 2.0	66.7	● 2.2	74.1	● 2.4	81.5	7.4	74.1
	26 文化的行事や活動を積極的に取り入れている。	● 2.1	71.4	● 2.7	90.0	● 2.9	96.3	9.6	86.7
事務	27 学校・学年・学級の事務、庶務、経理が適切に処理できている。	● 2.7	88.9	● 2.4	81.5	● 2.9	96.7	16.7	80.0
	28 学校・学年・学級の教具、備品、物品が適正に保管できている。	● 2.7	90.0	● 2.3	77.8	● 2.4	78.8	2.1	76.7
	29 公文書、指導要録、各種検査テスト結果等を、厳正に金庫等に保管できている。	● 3.0	100.0	● 2.8	92.6	● 2.8	93.9	10.6	83.3
地域連携	30 校区内の保幼小中と積極的に連携を図っている。	● 2.4	78.8	● 2.3	75.0	● 2.6	85.2	6.0	79.2
	31 関係機関(自治会、公民館、野鳥の会、PTA同窓会、獅子舞保存会など)と進んで連携を図っている。	● 2.5	84.8	● 2.9	96.3	● 3.0	100.0	6.7	93.3
	32 授業参観や各行事等を通して、積極的に学校の取組を地域に発信している。	● 2.5	81.8	● 2.9	96.3	● 2.9	96.3	3.0	93.3
個人平均		● 2.46	82.0	● 2.37	79.0	● 2.67	89.1	5.8	83.3

A=3 ●

3>A≥2 ●

2>A≥1 ●

1>A≥0 ●

R1 1学期	● 2.37	R1 2学期	● 2.45	R1 3学期	● 2.5
-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------

令和2年度 教育課程編成・実施についての自己評価(1・2・3学期)についての考察

区分	1・2・3学期の評価を比較しての考察	
教務	1	○ 「教育指導計画書に沿った教育課程が確実に実施できている。」が8.9%上昇しており、協働体制ができつつある。 教育指導計画書の学力向上プランや体力向上プランをもとに、計画的、継続的な取組が実施できている。その結果、標準学力検査NRT・CRTの結果は、全国平均を上回っている。基礎学力の定着を継続しながら、活用力の向上を図る必要がある。
	2	○ (標準学力検査NRT(7/1・2) 116.7(全国を100としたとき、昨年102.6:2~6年生) (国語115.3、算数118.1) (標準学力調査 (1/26・27) 76.9(校内正答率)、69.2(全国正答率)、1~6年生) (国語 77.38、算数 76.4)
教科	3	◎ 基礎的・基本的な学習内容の確実な習熟や定着を図っており、徐々にではあるが評価は上がっている。
	4	○ 自ら進んで学習に取り組む意欲や態度は向上しているが、個人差があり、まだ十分に育成できていない児童もいる。
	5	● 活用する力の育成に向けた授業改善は昨年度より進んでいるが、活用できている状況とまでは言えない。(73.3%) 「わり」授業や「ずらし」授業の充実と個への対応が、授業改善の重要なポイントであると考えられる。
道徳 人権	6	○ 道徳については、昨年より評価が10.5%上がり90.5%である。今後も他教科との関連を図りながら、指導の工夫を図っていく必要がある。
	7	○ 「わたしたちの道徳」や「あおぞら」等の活用が昨年度より1.6%上がり90.5%である。児童の実態を把握した上で、教科としての道徳の充実を図っていく必要がある。
	8	○ 人権学習などにより、自他の生命や人格を尊重し、協力して伸びようとする児童の育成が進んでいるが、昨年度より下がっているため、学校全体での取組が必要である。
特活	9	● 児童会活動などを積極的に行わせてきている。昨年より2.6%上がっているが、さらに子どもの主体的な活動へと向かわせたい。
	10	● コロナ禍であったが工夫しながら、クラブ・委員会活動では、児童の意欲を高めることができている。楽しく活動している。
総合的な学習	11	○ 3学期は85.2%と昨年度より0.5%下がっているが、探究的な学習や体験学習等を通して、自ら学び、自ら考える力を育成してきている。
	12	◎ 八木山地区の教育資源(ひと、もの、こと)を十分に活用できている。
生徒指導	13	○ ルールを守る指導やマナーを向上させる指導は、12.6%上がっているが、特性のある児童が増加傾向にあるため継続的な指導が必要である。
	14	○ いじめ・不登校・問題行動等への対応を速やかに行うことができている。
	15 16	○ 昨年度より少し下がっているが、少人数を生かして、教育相談や家庭連絡、家庭訪問を行いながら、児童理解を深め、家庭と連携した取組ができている。
研修	17 18	◎ 昨年度より「わり」授業や「ずらし」授業について、研修が進んできている。研究授業を行い、教員の授業力が徐々に向上してきている。標準学力調の結果からは学年間格差がみられた。今後も、児童が自ら学習を進めていく力を育成するために、個に応じた指導や知識構成型ジグソー法による協調学習を推進していく必要がある。
	19	○ 安全指導については、十分に危機感を持たせきれないところがあるので、日頃から危機意識を高めていく必要がある。(避難訓練・交通安全教室など)コロナ禍が終息すれば、引き渡し訓練も実施したい。
健康 安全	20	◎ 保健指導については、昨年より少し下がっているため、生活の基礎づくりのために「いきいきチェック表」の取組を継続して行い、今後も健康への意識をより高めていく必要がある。
	21	◎ 特別支援教育については、昨年度より3.3%評価が上がっているため、今後も全体での研修を計画的に企画し、共通理解を図っていく必要がある。
特別 支援	22	○ 児童や保護者の個別の教育的ニーズを十分に理解して、関係機関等との連携を図ることができている。今後も特別支援教育の視点に立った指導ができるように、研修を進めていく必要がある。
	23	○ 今後も教材・教具を整理、整頓し、計画的な活用を進めていく必要がある。
学習 環境	24	○ 学校全体の清掃活動に縦割り班で取り組み、高学年の児童が中心となって、目標を立てたり、反省をきちんとしたりしてきたので、昨年より充実して3.4%上昇している。
	25	○ 図書館は蔵書も充実してきており、保護者の読み聞かせなどにも積極的に取り組み昨年度より7.4%上がっている。今後も、調べ方コンクールの推進や図書館まつりにおける読書郵便など、読解力を高めるために重点的に取り組む必要がある。
文化	26	◎ 昨年より9.6%上昇している。伝統・文化的行事にもコロナ禍ではあるが取り組むことができている。(獅子舞、横笛、茶道)
	27	◎ 事務・庶務・経理が適切に行われている。
事務	28	● 昨年より2.1%上がっているが、教具・備品・物品の保管が行き届いてない。日々の業務に追われ、使用した後の片付けがおろそかになっているので、定期的に整理していく必要がある。
	29	◎ 公文書、指導要録、各種検査テスト結果等は、確実に金庫等に保管できているので、年度末に向けても確実に整理し、保管していく必要がある。
	30	○ 保幼小中との連携は教務主任も位置付けられ、6%上がっている。キャリアパスポートや合同研修会もあるが、十分連携できているとは言えない。今後も小中一貫校と連携の強化を図っていく必要がある。
地域 連携	31	◎ 八木山地区や関係機関との連携は深まってきており、授業参観や各学校行事を通して、その取組や成果を発信できている。今後も学校だよりやホームページの内容を充実させ、特定制による入学や転入を増やしていく必要がある。

※

昨年度の3学期の総合評価は2.49(82.9%)であったが、今年度の3学期は2.67(89.1%)と少し上がっている。授業改善や道徳教育、特別支援教育、清掃活動などでは成果がみられた。全体的には、32項目中、28項目で上昇している。下がった項目については、2021年度の学校経営構想で、めざす児童像を具体策を示していく必要がある。特に、さらなる授業改善、自他の生命や人格の尊重、児童の主体的な活動、総合的な学習の時間、備品の整備などについては、今年度の反省をもとに改善していかなければならない。10%以上上昇している項目が8項目、10%以下下がっている項目が1項目あり、全体としては、5.8%上がっている。全体評価が89.1%と高いので、今後も協働体制を構築し質を下げないようにして、重点化した改善を行っていく必要がある。